

令和7年度事業報告

I. 事務報告

1. 会議

(1) 理事会

① 第1回：令和7年5月19日、北区中里2-28-10にある一般社団法人日本植物防疫協会会議室において開催され、下記議案が決議された。

- | | |
|-------|--|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告に関する件 |
| 第2号議案 | 令和6年度収支決算報告に関する件 |
| 第3号議案 | 令和7年度育英費支給者に関する件 |
| 第4号議案 | 令和7年度定時評議員会開催に関する件 |
| 第5号議案 | その他 |
| 報告事項 | ・令和7年度就農希望者への奨学金受給申請の受付の状況
・植物防疫に関する学術・技術の交流に関する援助申請の受付の状況
・第40回報農会シンポジウムの準備の状況
・理事長及び常務理事の職務の執行の状況 |

② 臨時：令和7年6月6日、北区中里2-28-10の公益財団法人報農会事務所におけるオンライン会議により、下記議案が決議された。

- | | |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 代表理事及び業務執行理事の選任に関する件 |
| 第2号議案 | その他 |

③ 臨時：令和7年11月21日、北区中里2-28-10の公益財団法人報農会事務所におけるオンライン会議により、下記議案が決議された。

- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 専門委員会委員の選任に関する件 |
| 第2号議案 | 賛助会員に関する規程の改訂に関する件 |
| 第3号議案 | その他 |

④ 第2回：令和8年3月5日、北区中里2-28-10の公益財団法人報農会事務所におけるオンライン会議により、下記議案が決議された。

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和8年度事業計画に関する件 |
| 第2号議案 | 令和8年度収支予算に関する件 |
| 第3号議案 | 役員報酬に関する件 |
| 第4号議案 | 第41回功績者表彰に関する件 |
| 第5号議案 | その他 |
| 報告事項 | ・第41回報農会シンポジウムの準備の状況
・令和8年度育英生の募集状況
・理事長及び常務理事の職務の執行の状況 |

(2) 評議員会

定 時：令和 7 年 6 月 4 日、北区中里 2-28-10 にある一般社団法人日本植物防疫協会会議室において開催され、下記議案が決議された。

- | | |
|---------|--|
| 第 1 号議案 | 令和 6 年度事業報告に関する件 |
| 第 2 号議案 | 令和 6 年度収支決算報告に関する件 |
| 第 3 号議案 | 理事及び監事の選任に関する件 |
| 第 4 号議案 | 基本財産の一部取り崩しに関する件 |
| 第 5 号議案 | その他 |
| 報告事項 | ・令和 7 年度育英費受給申請の受付の状況
・令和 7 年度就農希望者への奨学金受給申請の受付の状況
・植物防疫に関する学術・技術の交流に関する援助申請の受付の状況
・第 40 回功績者表彰の選考の状況
・第 40 回報農会シンポジウムの準備の状況 |

(3) 監査会

令和 7 年 4 月 22 日、北区中里 2-28-10 の公益財団法人報農会事務所において令和 6 年度事業報告並びに収支決算について監査を受けた。

2. 役 員

令和 8 年 3 月 31 日現在の役員及び評議員は、別紙役員及び評議員等名簿のとおりである。

II. 事 業 報 告

1. 植物防疫に関する学術・技術分野における専門家の育成

(1) 育英費の支給

次の 4 名の大学院生に対しそれぞれ年額 36 万円の育英費を支給した。

- 佐伯 靖将（東京農業大学大学院生命科学研究科博士後期課程・指導教員：矢嶋俊介）
研究テーマ『植物寄生線虫の宿主認識に関する遺伝子の認識機能の解明』
- 阪田 さわ子（法政大学大学院理工学研究科博士前期課程・指導教員：大島研郎）
研究テーマ『アジサイ葉化病ファイトプラズマの分泌タンパク質 HYDE5 の機能解析』
- 木村 莉央（茨城大学大学院農学研究科博士前期課程・指導教員：中島雅己）
研究テーマ『L-メチオニン処理したキュウリにおける抵抗性発現機構に関する研究』
- 田中 智也（福井県立大学大学院生物資源研究科博士前期課程・指導教員：仲下英雄）
研究テーマ『サリチル酸受容体非依存的な病害抵抗性シグナルの発現メカニズムの解析』

(2) 就農希望者への奨学金の贈呈

次の 4 名の農業大学校在生に対し、奨学金として優秀賞 10 万円、奨励賞 5 万円を賞状と併せてそれぞれ贈呈した。

優秀賞（以下 2 名）

- 榊原 毅士（愛知県立農業大学校・指導教員：佐野達也）

研究テーマ『ナシ栽培におけるハダニ類防除の減農薬に向けた取組』

○川合 千晴（広島県立農業技術大学校・指導教員：越智資泰）

研究テーマ『根こぶ病発生圃場での抵抗性品種とpH矯正がハクサイの生育と収量に及ぼす影響』

奨励賞（以下2名）

○南 敢太（北海道立農業大学校・指導教員：會見拓哉）

研究テーマ『種子ばれいしょ栽培におけるジベレリン処理の有無と株間の違いによる規格別収量の比較』

○酒井 昌樹（福岡県農業大学校・指導教員：濱野貴志）

研究テーマ『ナス栽培における青色LED灯を活用したコナジラミ類等防除の効果検証』

2. 植物防疫に関する学術・技術の交流

令和7年度は休止とした。

3. 植物防疫の発展に寄与した功績者の表彰

（1）第40回功労賞の贈呈

表彰式は、令和7年9月26日のシンポジウムに引き続いて、北とぴあ『つつじホール』において会場開催で行った。受賞者は5名であり、池田信、内田又左衛門、木野田みはる、中山喜一各氏に会場にて功労賞（賞状、正賞、副賞）を贈呈するとともに、金城美恵子氏は欠席であったため表彰式終了後に同賞を郵送した。

（2）第41回功労賞受賞者の選考及び決定

令和8年2月13日開催の功績者表彰候補推薦委員会において、次の候補者4名を選考した。その後3月5日の理事会で承認された。

竹内 妙子、伊達 寛敬、山代 千加子、吉沢 治

4. 植物防疫に関する第40回公開シンポジウムの開催

『植物保護ハイビジョン-2025』 “節目の第40回：激動が続いた最近20年を顧みて今後を展望する” をテーマとして、以下の8課題について令和7年9月26日に北とぴあ『つつじホール』において会場開催で行った。

今回第40回の節目に立ち、植物保護の主要な対象である病害、虫害、雑草害と、その対策に欠かせない農薬の4つの分野について、第一部（午前）でこの20年間にシンポジウムで取り上げた課題の変遷を顧みたと、第二部（午後）ではそれを受けて今後を展望するという構成で行った。参加者は80名ほどであった。

<第一部（午前）>

○この20年間にシンポジウムで取り上げた課題の変遷 【病害】

シンポジウム開催実行委員（東京農工大学） 有江 力

○この20年間にシンポジウムで取り上げた課題の変遷 【虫害】

シンポジウム開催実行委員（元農業生物資源研究所） 野田博明

○この20年間にシンポジウムで取り上げた課題の変遷 【雑草害】

- シンポジウム開催実行委員（日本植物調節剤研究協会） 渡邊寛明
- この20年間にシンポジウムで取り上げた課題の変遷 【農薬】
- シンポジウム開催実行委員（元日本植物防疫協会） 中村幸二
- <第二部（午後）>
- 新しい土壌病害管理法「ヘソディム」の普及戦略
- 特定非営利活動法人 圃場診断システム機構 對馬誠也
- 特殊害虫（侵入害虫）の現状と関係する研究、および今後の課題
- 岡山大学農学部 宮竹貴久
- 道路、河川敷、空地等における雑草管理の現状と農耕地に及ぼす影響
- ～外来雑草に関する話題を中心に～
- 公益財団法人日本植物調節剤研究協会 村岡哲郎
- 農薬登録における最近の評価の動向と今後の展開
- 独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部 入江真理

令和7年度 収 支 決 算 報 告

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	770,565	783,271	△ 12,706
流動資産合計	770,565	783,271	△ 12,706
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	50,000,000	60,000,000	△ 10,000,000
定期預金	7,020,000	13,620,000	△ 6,600,000
普通預金	11,900,000	0	11,900,000
基本財産合計	68,920,000	73,620,000	△ 4,700,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,152,000	976,000	176,000
特定資産合計	1,152,000	976,000	176,000
固定資産合計	70,072,000	74,596,000	△ 4,524,000
資産合計	70,842,565	75,379,271	△ 4,536,706
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	55,820	35,400	20,420
流動負債合計	55,820	35,400	20,420
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,152,000	976,000	176,000
固定負債合計	1,152,000	976,000	176,000
負債合計	1,207,820	1,011,400	196,420
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	68,920,000	73,620,000	△ 4,700,000
(うち基本財産への充当分)	(68,920,000)	(73,620,000)	(△ 4,700,000)
(うち特定資産への充当分)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	714,745	747,871	△ 33,126
(うち特定資産への充当分)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	69,634,745	74,367,871	△ 4,733,126
負債及び正味財産合計	70,842,565	75,379,271	△ 4,536,706

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	759,422	768,738	△ 9,316
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	2,684	4,553	△ 1,869
③ 事業収益			
受取参加費	310,000	230,000	80,000
④ 受取寄付金			
受取寄付金	3,098,840	4,376,153	△ 1,277,313
⑤ 雑収益			
受取利息	11,438	2,280	9,158
雑収益	0	32	△ 32
⑥ 指定正味財産からの振替額	4,700,000	3,840,000	860,000
経常収益計	8,882,384	9,221,756	△ 339,372
(2) 経常費用			
① 事業費			
育成費	1,740,000	2,000,000	△ 260,000
援助費	0	100,000	△ 100,000
表彰費	835,788	534,235	301,553
講演会費	980,897	717,409	263,488
会場費	142,920	587,630	△ 444,710
役員報酬	2,286,728	2,114,418	172,310
給料手当	242,250	154,063	88,187
退職給付費用	149,600	149,600	0
福利厚生費	236,010	232,441	3,569
会議費	60,344	10,522	49,822
旅費交通費	320,068	300,863	19,205
通信運搬費	444,855	617,470	△ 172,615
消耗品費	90,900	102,468	△ 11,568
賃借料	583,440	594,193	△ 10,753
雑費	19,325	25,449	△ 6,124
事業費計	8,133,125	8,240,761	△ 107,636
② 管理費			
役員報酬	403,540	578,686	△ 175,146
給料手当	42,750	27,187	15,563
退職給付費用	26,400	26,400	0

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福利厚生費	41,649	41,019	630
会議費	10,649	85,147	△ 74,498
旅費交通費	56,482	46,327	10,155
通信運搬費	78,504	108,965	△ 30,461
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	16,041	18,083	△ 2,042
賃借料	102,960	104,857	△ 1,897
雑費	3,410	16,491	△ 13,081
管理費計	782,385	1,053,162	△ 270,777
経常費用計	8,915,510	9,293,923	△ 378,413
当期経常増減額	△ 33,126	△ 72,167	39,041
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 33,126	△ 72,167	39,041
一般正味財産期首残高	747,871	820,038	△ 72,167
一般正味財産期末残高	714,745	747,871	△ 33,126
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	4,700,000	3,840,000	860,000
当期指定正味財産増減額	△ 4,700,000	△ 3,840,000	△ 860,000
指定正味財産期首残高	73,620,000	77,460,000	△ 3,840,000
指定正味財産期末残高	68,920,000	73,620,000	△ 4,700,000
III 正味財産期末残高	69,634,745	74,367,871	△ 4,733,126

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として管理している。	95,219
	預金	普通預金	運転資金として管理している。	
		みずほ銀行小金井支店		148,465
		三井住友銀行花小金井支店		526,881
流動資産合計				770,565
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第364回利付国債他6銘柄	運用益を公益目的事業及び管理業務に使用している。 (共用財産 比率:公85%、管15%)	50,000,000
	預金	定期預金	運用益を公益目的事業及び管理業務に使用している。	7,020,000
普通預金		三井住友銀行花小金井支店	運用益を公益目的事業及び管理業務に使用している。	11,300,000
普通預金		三井住友銀行花小金井支店	運用益を公益目的事業及び管理業務に使用している。 (共用財産 比率:公85%、管15%)	600,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職給付引当金見合いの引当資産として管理している。	976,000
		普通預金	三井住友銀行花小金井支店	176,000
固定資産合計				70,072,000
資産合計				70,842,565
(流動負債)	預り金	源泉所得税	所得税の支払い預かり分	55,820
流動負債合計				55,820
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,152,000
固定負債合計				1,152,000
負債合計				1,207,820
正味財産				69,634,745